



## アルコニックスグループ

# 超プレス企業「富士プレス」

# どこにも真似できない技術と製品を目指して

日本の産業界を取り巻く環境は、新たな変革期を迎えている。その激動の時代に、躍進を遂げている企業に迫る。

時代のニーズに応え、新たな価値を創造する一つの企業がある。それは、非鉄金属系の商社でありながら製造機能を併せ持つ「アルコニックス」。1981年の創業後、2001年のMBOを経て2010年に東証一部へ上場。これに並行して、M&Aを主軸とした企業戦略を推進し、商社から総合企業へ業容拡大と成長を遂げた。

多くの事業拡大を手掛ける中で、2017年にグループ会社となった株式会社富士プレス（本社・愛知県大府市）は、自動車用プレス部品の製造販売を行うメーカーで、現行の83億円から5年後には100億円の売上を目指している。金型の設計製作からプレス加工に至るまで一貫生産体制を取っており、今まで培ってきたノウハウと、自動画像検査装置等により万に一つでも不良品を許さない徹底した品質管理で業界をリードし続けている。

富士プレスが製造するプレス部品は1/100mmという高い加工精度

を誇り、従来は1部品を作るのに切削で数十秒、数分かかっていたものが、プレスなら1秒という驚異的な生産性で高いコストパフォーマンスを発揮できるのが強みだ。また、横根第1工場では、複数のトランスファープレスマシンを直結し、無人での生産を実現している。

今後は、高精度加工と生産性を活かして、EVや自動運転といった新たな製品分野の自動車部品を切削プレスにて製造していくという。

国内はもちろん、海外にも領域を広げており、メキシコに「FUJIALCONIX MEXICO」を設立。2019年7月から始動し、自動車市場の主戦場である北米の自動車メーカー向けに精密プレス部品を製造販売している。12台のプレス機を駆使し、2022年には生産数を現在の2倍に拡大する考えだ。

非鉄金属系商社の枠を超え、さまざまな可能性を見据えて進化し続けるアルコニックス。その動向に今後大きな注目が集まる。

株式会社富士プレス 代表取締役社長

## 高羽 直樹



当社は、精密な造形と高い生産性を併せ持つプレス技術で信頼を頂いております。本社工場で培った深絞りや板鍛造等の独自技術をメキシコ工場に展開し、自動車用高精度プレス部品の北米生産を拡大して参ります。

たかは・なおき 慶應義塾大学工学部機械工学科卒業。株式会社デンソー工機部長・安全環境推進部長を経て、2018年7月より株式会社富士プレス代表取締役社長に就任。



**FUJI PRESS**  
Creating New Colors and Shaping Your Dreams



2018年12月、メキシコ中部のサン・ルイス・ポトシ州に設立した「FUJIALCONIX MEXICO」。



商社機能と製造業を融合する総合企業

**アルコニックス株式会社**

東証1部3036 <https://www.alconix.com/>